

「マスト少額短期保険の現状 2017」について

「マスト少額短期保険の現状 2017」について、下記の通り追記、訂正致します。

記

1. (10 ページ) 保険契約に関する指標に、**網掛け部分**を追記し、訂正致します。

○**出再控除前**の元受損害率、元受事業費率及び元受合算率

区 分	内 訳	2016年度
火 災	元 受 損 害 率	—
	元 受 事 業 費 率	261,549.5%
	元 受 合 算 率	261,549.5%

2. (7 ページ) ○指定紛争解決機関についての次に、5 リスク管理態勢を追記致します。

5 リスク管理態勢

当社は、リスク管理基本方針を以下のとおり定め、業務を適正に行います。

リスク管理基本方針

1. リスク管理基本方針

保険事業運営上のリスクが高度化・複雑化・多様化していることを踏まえ、当社は、各種の「個別リスク管理方針」を定め、業務の健全性と適正性を確保し向上するための管理態勢を構築しています。

(1) リスク管理の考え方

業務の健全性と適正性を確保し維持することを目的に「個別リスク管理方針」を定め、リスク管理に係る組織、リスクの定義など、当社のリスク管理全般に関する基本的事項を明確化しています。

(2) 危機管理の考え方

当社は、リスク管理基本方針に基づき「経営危機管理規則」を定め、お客様・代理店との関係に広範かつ重大な影響が生じたり、当社業務に著しい支障が生じる事態において、適切な行動・措置をとり、当社が被る経済的損失を極小化し、迅速に通常業務へ復

旧することとしています。

2. 個別リスク管理方針

当社の事業遂行に関わる主要なリスクを特定し、主管部を定め個別にリスク管理に取り組んでいます。

主要なリスクの概要は次のとおりです。

- (1) 保険引受リスク
商品開発改定等に関するリスク、個別契約引受に関するリスク、再保険に関するリスク、適切な責任準備金または支払備金の積立が行われないリスクからなります。
- (2) 流動性リスク
当社の財務内容の悪化等を原因として流入資金の減少または資金流出の増加が生じることにより当社が債務を履行できなくなる等により当社が損失を被るリスクのことです。
- (3) 事務リスク
従業員・代理店等の事務ミスや不正な処理により当社が損失を被るリスクのことです。
- (4) システムリスク
情報システムに関して、その停止または誤作動、不正使用、セキュリティ対策の不備等が原因となって 当社が直接、間接を問わず、損失を被るリスクのことです。
- (5) 情報漏えいリスク
役員・従業員・代理店等の誤りや不正な処理等により、顧客情報や機密情報が漏えいし、当社が損失を被るリスクのことです。
- (6) 法務リスク
事業活動に関連して発生する可能性がある、法令違反、法律紛争の発生等により損失を被るリスクのことです。
- (7) レピュテーションリスク
当社および当社業務に密接な関係を有する者に関する否定的な評価・評判が流布されることにより当社の信用やブランド価値等が悪化し、結果的に不利益を被るリスクのことです。
- (8) 事故・災害・犯罪リスク
事故・災害・犯罪に起因して、当社または代理店等当社業務に密接な関連を有するものが、その生命・身体・資産・情報・信用・業務遂行能力に被害が発生することにより当社が損失を被るリスクのことです。
- (9) 人事・労務リスク
必要な人材の確保または育成が十分でないこと、人事運営に関する不満に起因する従業員の士気の低下、不適切な労務管理に起因する従業員の士気の低下または心身の健康障害により当社が損失を被るリスクのことです。

再保険について

当社は、過大なリスクを保有することで経営の安定を阻害することがないように、当社が定める方針に基づき、トーア再保険株式会社、東京海上日動火災保険株式会社及び共栄火災海上保険株式会社と再保険契約を締結して、保険責任の一定割合を移転しています。同再保険に付すことにより、巨大災害と想定される大規模地震や巨大台風による風災の際にも、当社が自ら負担する支払責任額は、資本金に比較して十分に低い額にコントロールしています。

以上